

令和6年度

事業報告書

法人本部

千歳敬心苑

池袋敬心苑

浦安市障がい者福祉センター

敬心ゆめ保育園

江東区障害者福祉センター

社会福祉法人 敬心福祉会

令和6年度事業報告書 目次

1	社会福祉法人敬心福祉会 経営理念	...	1
2	第1部 法人本部	...	2
3	第2部 千歳敬心苑	...	12
4	第3部 池袋敬心苑	...	20
5	第4部 浦安市障がい者福祉センター	...	31
6	第5部 敬心ゆめ保育園	...	36
7	第6部 江東区障害者福祉センター	...	40

社会福祉法人敬心福社会 経営理念

令和7年3月31日
社会福祉法人 敬心福社会
理事長 小林 光俊

わたくしたちは、少子高齢社会における地域福祉の拠点たる使命を自覚し、次に掲げる理念の基に永続的事業の経営に取り組みます

- 1 いつも敬う心で人権と尊厳を守り、利用者(おとしより・障がい者・児童)に接します
- 2 ひとりひとりの利用者にとって最もふさわしい生活を追求し、利用者と家族が満足するサービスの提供に努めます
- 3 法人・施設の持つ機能を活かし、地域社会への貢献に努めます
- 4 常に健全で活力ある経営と民間社会福祉事業としての先駆性・独自性に努めます
- 5 常に職員の資質の向上と待遇の改善を図り、いつも明るくさわやかに働く施設を目指します





第1部 法人本部



1	令和6年度 事業報告（はじめに）	...	3
2	令和6年度 理事会及び評議員会の開催状況	...	4
3	役員名簿・評議員名簿	...	6
4	法人組織図	...	7
5	法人の沿革	...	8
6	法人経営会議の開催状況	...	9
7	その他事業報告	...	11



1 令和6年度 事業報告（はじめに）



令和6年度は、コロナ禍以降、東京・パリと夏のオリンピックが無事に開催され、様々な問題は山積しているなか世界経済も順調に回復しております。日本経済も雇用・給与等の改善、インバウンドによる需要の拡大もあり、緩やかな回復基調で推移いたしております。しかし、世界経済の立ち直りは、天然資源・食料等への需要増加等につながり、国内物価に大きく影響いたしております。さらには生産人口の減少、新卒者の減少もあり、求人確保の困難さから事業継承への滞りが起きております。さらに、政府の後押しをうけ大手企業を中心に賃金大幅アップの傾向が顕著となっております。直近ではアメリカ・トランプ政権の発足により、関税問題等が大きく影響し、現下の経済環境は不透明さを日に日に増しており、世界景気のリセッション、金融不安も懸念されております。

そのような環境下にある福祉業界では、3年に一度の介護報酬改定もあり、職員の処遇改善等により賃金面での改善は進んでおります。ただし、新卒労働者の供給が細るなか、求人確保に時間がかかり事業縮小・利用者定員の削減等を懸念する声も聞こえてきております。特に在宅介護関係の職員確保は厳しく、周辺の居宅介護事業所の縮小・閉鎖も目立ち始めております。地域・地区の少子高齢化の影響は都市部においてもみられ、施設介護から居宅介護への移行は、社会基盤の維持が厳しい状況になっていることもあり、大きく懸念されます。

このような厳しい状況が続くことが懸念されますが、私共「敬心福祉会」は、利用者の方々に対し、福祉・介護サービスの提供を継続し、地域の福祉資源を活用しつつ多職種との連携を図り、利用者・関係者の生活を安定させるよう努力いたします。また、不断に適正な評価を通しその体制が維持発展されることを追求します。多様な人材を確保活用し、『デジタル技術の活用』で福祉・介護サービスの提供や運営を効率化し、質の向上を図ります。なお、今年度（令和6年度）は、千歳敬心苑において、『次世代介護機器導入促進支援事業』を活用しDX等の機材を導入しております。

他施設においても、令和5年4月より受託した江東区障害福祉センター施設の耐震工事等による『大規模改修工事』が今年度より実施され、それに伴う移転・引っ越し作業があり、利用者・関係者の皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。また、令和5年度モデル事業として立ち上げた豊島区での『入浴介護事業』が本格的居宅支援事業とし運営を開始いたしており、地域の方々に喜ばれております。さらに、敬心ゆめ保育園では、7月より『一時預かり事業』を開始し、地域に暮らす保護者・関係者皆様のニーズに応えるべく新たなサービスを提供いたしております。このような施策の実現に向け努力された職員、その実現に対しご理解ご協力をくださいました関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和7年5月
社会福祉法人 敬心福祉会
理事長 小林 光俊

2 令和6年度 理事会及び評議員会の開催状況

開催日(場所)	出席者数	主な内容
第1回理事会 令和6年5月22日(水) 午後3:00～午後5:00 ホテルグランドヒル市ヶ谷 東館3階翡翠	理事6名 (欠席なし) 監事2名 (欠席0名)	<<議案>> 第1号 令和5年度事業報告 第2号 令和5年度計算書類等の承認 第3号 定時評議員会の開催 第4号 社会福祉充実残額 第5号 施設運営規程の一部改定 第6号 一時預かり事業一般型の実施 第7号 定款の変更 <<報告>> 第1号 監事監査の実施 第2号 財務会計に関する支援業務実施 第3号 令和5年度実地指導 第4号 世田谷区地域包括支援センター運営事業者募集に伴うプロポーザルへの参加 第5号 令和6年度嘱託医(産業医)の追加
定時評議員会 令和6年6月19日(金) 午後2:00～午後4:00 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス	評議員5名 (欠席2名) 理事5名 (欠席1名) 監事2名 (欠席0名)	<<議案>> 第1号 令和5年度計算書類等 第2号 定款の変更 <<報告>> 第1号 令和5年度事業報告 第2号 監事監査の実施報告 第3号 社会福祉充実残額
第2回理事会 令和6年6月19日(金) 午後4:00～午後4:30 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	<<議案>> 第1号 賃金規程の改定

理事会の決議の省略 決議日 令和6年7月17日(水)	同意 理事6名全員 異議確認 監事2名全員	《議 案》 第1号 浦安市障がい者福祉センターおよび江東区障害者福祉センターの賃金規程変更 第2号 千歳敬心苑運営規程に基づく契約書別紙の変更
理事会の決議の省略 決議日 令和6年11月25日(月)	同意 理事6名全員 異議確認 監事2名全員	《議 案》 第1号 江東区障害者福祉センターの多機能型事業運営規程変更 第2号 江東区障害者福祉センターの特定相談支援事業運営規程変更
理事会の決議の省略 決議日 令和7年2月21日(金)	同意 理事6名全員 異議確認 監事2名全員	《議 案》 第1号 敬心ゆめ保育園運営規程変更 第2号 烏山あんしんすこやかセンター運営規程変更 第3号 千歳敬心苑において「令和6年度次世代介護機器導入促進支援事業」にかかわる介護機器等の購入及び補助申請
第3回理事会 令和7年3月21日(金) 午後13:30～午後15:30 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス	理 事5名 (欠席1名) 監 事1名 (欠席1名)	《議 案》 第1号 令和7年度事業計画書 第2号 令和6年度補正予算 第3号 令和7年度予算 第4号 賃金規程の改定 第5号 育児・介護休業等に関する規定の改定 第6号 第三者委員の選任 第7号 令和7年度評議員改選に係る候補者選任 第8号 次期評議員選任・解任委員の選任 第9号 評議員選任・解任委員会の招集 第10号 給食委託業者の選定(池袋敬心苑) 《報 告》 第1号 業務報告 第2号 令和7年度会計責任者および特定個人情報管理責任者の任命 第3号 令和7年度嘱託医(産業医) 第4号 令和6年度実地指導報告 第5号 令和7年度組織体系(組織図)

3-1 役員名簿

定数：理事 6～7 名(令和 7 年 3 月 31 日現在)

	役職名	氏 名	就任月日(任期)	主な経歴
1	理事長	小林 光俊	令和5年6月23日 ～令和7年6月	学校法人敬心学園 理事長
2	理 事	柳澤 均	令和5年6月23日 ～令和7年6月	常務理事
3	理 事	佐藤 宏美	令和5年6月23日 ～令和7年6月	敬心ゆめ保育園 園長
4	理 事	原田 佳明	令和5年6月23日 ～令和7年6月	しんわ税理士法人代表社員・税理士
5	理 事	肥田 淳	令和5年6月23日 ～令和7年6月	江東区障害者福祉センター センター長
6	理 事	林 正志	令和5年6月23日 ～令和7年6月	学校法人敬心学園 本部長
7	監 事	齊藤 幸司	令和5年6月23日 ～令和7年6月	齊藤会計事務所所長・税理士
8	監 事	岩崎 雄大	令和5年6月23日 ～令和7年6月	多久島岩崎法律事務所・弁護士

任期の終期は、令和 7 年度の定時評議員会の終結時（令和 7 年 6 月）

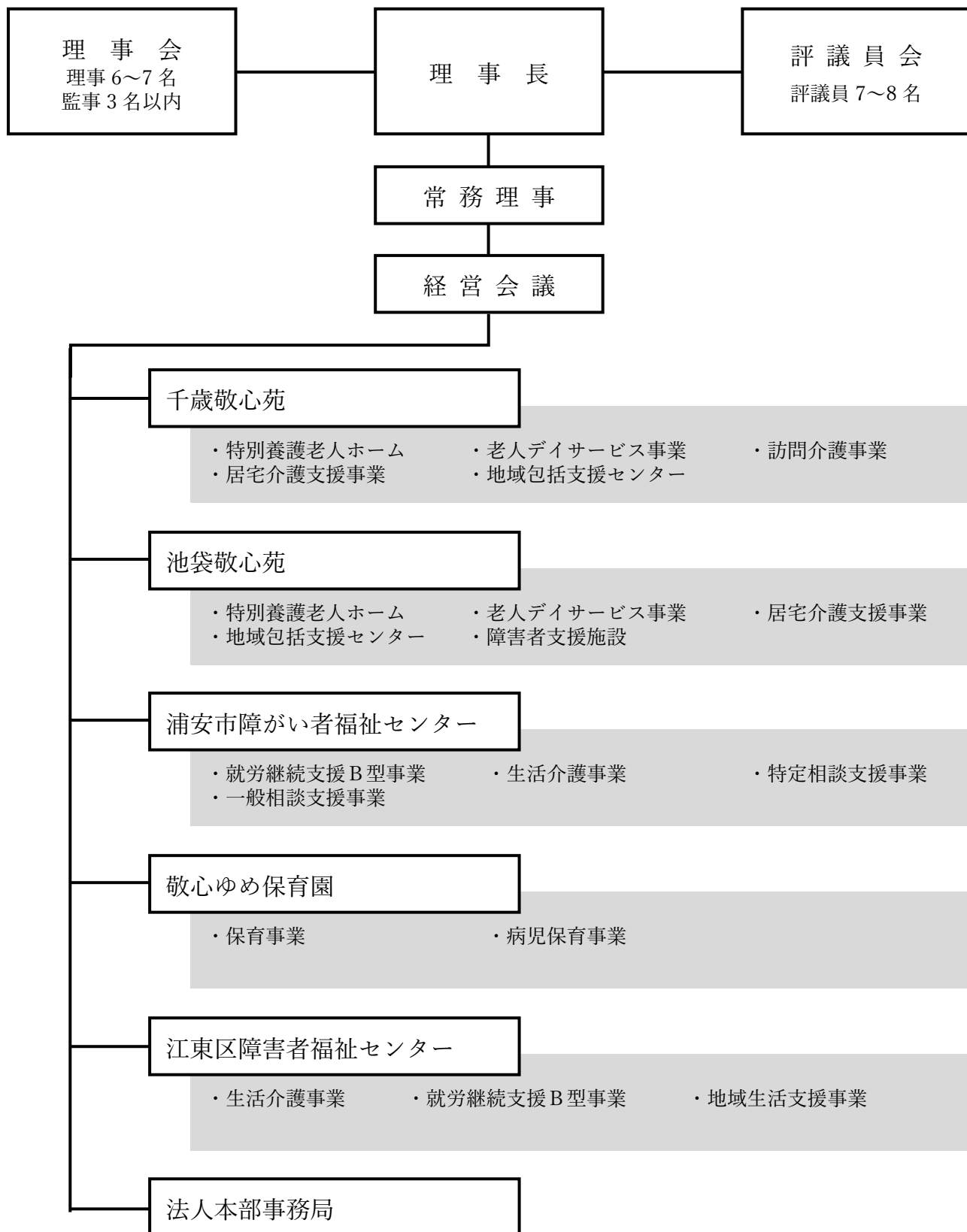
3-2 評議員名簿

定数：理事 7～8 名(令和 7 年 3 月 31 日現在)

	氏 名	就任月日(任期)	主な経歴
1	内野 滋雄	令和3年6月10日 ～令和7年6月	(福)三徳会 理事長・医師
2	鈴木 武夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	元 東京都参事
3	穴戸 安夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	世田谷区給田町会 会長
4	蟻塚 昌克	令和3年6月10日 ～令和7年6月	立正大学社会福祉学部 教授
5	鈴木 恵子	令和3年6月10日 ～令和7年6月	民生委員・児童委員・保護司
6	児玉 裕司	令和3年6月10日 ～令和7年6月	日本陶芸倶楽部 理事長
7	魚津 亮太	令和3年6月10日 ～令和7年6月	(福)恩賜財団東京都同胞援護会 総務部長

任期の終期は、令和 7 年度の定時評議員会の終結時（令和 7 年 6 月）

4 社会福祉法人 敬心福祉会 組織図





5 法人の沿革



平成	8	年	2	月	15	日	社会福祉法人 敬心福祉会 設立
平成	9	年	4	月	14	日	特別養護老人ホーム「千歳敬心苑」設置認可・開所
			6	月	1	日	老人短期入所事業「千歳敬心苑」開始
			7	月	1	日	老人デイサービスセンター「デイ・ホーム千歳」開所
平成	11	年	4	月	4	日	「給田在宅介護支援センター」開所
平成	12	年	10	月	1	日	「給田介護保険サービス」事業開始
平成	14	年	5	月	1	日	「給田ヘルパーステーション」開所
平成	15	年	11	月	1	日	「浦安市障がい者福祉センター」の運営受託
平成	17	年	4	月	1	日	特別養護老人ホーム「池袋敬心苑」設置認可・開所
							老人短期入所事業「池袋敬心苑」開始
							老人デイサービスセンター「デイホーム南池袋」開所
							「ふくろうの杜在宅介護支援センター」開所
							「ふくろうの杜介護保険健サービス」事業開始
							身体障害者療護施設「雑司谷」開設
							身体障害者短期入所事業「雑司谷」開始
			10	月	1	日	「雑司谷デイサービスセンター」開所
平成	18	年	4	月	1	日	「烏山あんしんすこやかセンター」開所
							「ふくろうの杜地域包括支援センター」開所
							「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」開設
平成	20	年	7	月	1	日	「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」受託
平成	21	年	4	月	1	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業運営受託
平成	22	年	1	月	1	日	ふくろうの杜地域包括支援センターを
							「ふくろうの杜高齢者総合相談センター」に名称変更
平成	23	年	4	月	1	日	浦安市知的障がい者通所授産施設、浦安市知的障がい者通所更生施設及び浦安市福祉作業所を、就労移行支援、就労継続支援B型及び生活介護の各事業へ移行
平成	24	年	4	月	1	日	身体障害者療護施設「雑司谷」を、障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）へ移行
平成	25	年	3	月	31	日	「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」閉店
							「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」指定管理期間満了
平成	26	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 開園
平成	29	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 病児保育事業 開始
平成	31	年	3	月	31	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業 期間満了
令和	3	年	4	月	1	日	浦安市障がい者福祉センターの指定管理更新に伴い、
							「一般相談支援事業」開始
令和	4	年	11	月	1	日	「江東区障害者福祉センター」準備室の設置
令和	5	年	4	月	1	日	「江東区障害者福祉センター」運営開始
令和	6	年	4	月	1	日	「としま入浴通所サービス」受託
令和	6	年	7	月	1	日	敬心ゆめ保育園「一時預かり事業」の開始

6 令和6年度 法人経営会議の開催状況

回	開催日	開始時刻	場所	会議内容	備考
1	4月24日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設の3月近況報告 ・3月決算・予算執行の状況報告 ・5月理事会開催への準備確認 ・保育園 一時預かり事業の実施及び定款変更	(定員) 10名 (参加) 10名
2	5月15日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設の4月近況報告 ・5月理事会開催への準備確認 ・6月定時評議員・理事会への準備確認 ・東京都居住支援特別手当事業	(定員) 10名 (参加) 10名
3	6月19日 (水曜日)	13時00分	ホテルグランドヒル市ヶ谷	・各施設5月近況報告 ・定時評議員・理事会の確認	(定員) 10名 (参加) 10名
4	7月17日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設6月近況報告 ・世田谷区地域包括のプロポーザル ・保育園の一時預かり事業開始 ・都居住支援特別手当の対象事業に指定管理事業も含まれる	(定員) 10名 (参加) 9名
5	8月21日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設7月近況報告 ・9月に、船橋市の指導監査 ・江東区障害者福祉センターで専門職大学との機能訓練事業について相談。	(定員) 10名 (参加) 9名
6	9月18日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設8月近況報告 ・世田谷区地域包括支援センター受託内示 期間6年間 ・ゆめ保育園会計監査・実地指導監査	(定員) 10名 (参加) 10名
7	10月16日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設9月の近況報告 ・池袋職員総会 ・江東区障害者福祉センターの移転	(定員) 10名 (参加) 10名
8	11月20日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設10月の近況報告 ・浦安市きらりあ20周年イベント 来賓浦安市長ほか ・消費税	(定員) 10名 (参加) 10名

9	12月13日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設11月の近況報告 ・豊島区の実地指導検査 ・障がい者GHの検討	(定員) 10名 (参加) 10名
10	令和6年 1月18日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設12月の近況報告 ・感染状況の報告 ・浦安市との協議(令和8年以降) ・江東区基幹相談事業・消費税	(定員) 10名 (参加) 10名
11	2月14日 (水曜日)	15時30分	学園本部	・各施設1月の近況報告、3月見通し ・豊島区入浴通所サービス業務委託 ・浦安市きらりあGH報告 ・感染症	(定員) 10名 (参加) 9名
12	3月15日 (金曜日)	15時30分	ホテルグ ランドヒ ル市ヶ谷	・各施設2月の近況報告、3月見通し ・浦安市きらりあGH報告 ・敬心ゆめ保育園 卒園式	(定員) 10名 (参加) 10名

経営会議参加メンバー

(令和7年3月31日現在)

社会福祉法人 敬心福祉会	理 事 長	小 林 光 俊
	常 務 理 事	柳 澤 均
	理 事	原 田 佳 明
	理 事	林 正 志
敬心ゆめ保育園	園 長	佐 藤 宏 美
江東区障害者福祉センター	センター長	肥 田 淳
千歳敬心苑	施 設 長	山 口 晃 弘
池袋敬心苑	施 設 長	齋 藤 隆 弘
浦安市障がい者福祉センター	センター長	大 島 佐 登 子
法人本部事務局	事 務 局 長	中 村 純

7 その他事業報告

1 指定管理事業 44,522,000 円（昨年 43,513,962 円）

（1）浦安市指定管理事業 24,810,000 円（昨年 24,269 千円）

（2）江東区指定管理事業 19,712,000 円（昨年 19,245 千円）

2 東京電力（株）架設送電線路契約（千歳敬心苑） 2,107,675 円

平成 8 年 4 月より東京電力(株)との間にて、標記契約を締結。

線下補償料の平米単価推移 2,740 円(平成 8 年)→2,790 円(平成 10 年)→2,845 円
(平成 12 年)→2,788 円(平成 14 年)

2,760 円(平成 16 年・現在)×763.65 m²≒2,107,675 円

3 永年勤続表彰事業 対象者 30 名 支払額 1,270,000 円

番号	名 称	表彰 人数	金 額	備 考 (昨年)
1	千歳敬心苑	9 名	420,000 円	420,000 円
2	池袋敬心苑	7 名	280,000 円	490,000 円
3	浦安市障がい者福祉センター	5 名	200,000 円	430,000 円
4	敬心ゆめ保育園	7 名	270,000 円	120,000 円
5	江東区障害者福祉センター	2 名	100,000 円	60,000 円
	計	30 名	1,270,000 円	1,520,000 円

4 障害者雇用納付金 2,300,000 円（R5 800,000 円 R4 1,550,000 円）

・常用雇用労働者の総数 年間延べ人数 3,853 人（昨年 3,443 人—昨年 3,309 人）

・必要な法定雇用障害者人数 3,661 人×2.3/100 ≒ 81 人（昨年 72 人）

・法定雇用障害者の延べ人数（年間） 81 人（昨年 72 人）

・実際の雇用障害者延べ人数（年間） 35 人（昨年 56 人）

差 引 46 人（昨年 16 人）

・納付額の計算 46 人×50,000 円=2,300,000 円

（昨年 16 人×50,000 円=800,000 円）



第2部 千歳敬心苑



(東京都世田谷区給田)

1 はじめに ... 13

2 特別養護老人ホーム千歳敬心苑 ... 14

3 デイ・ホーム千歳 ... 16

4 給田ヘルパーステーション ... 17

5 給田介護保険サービス ... 18

6 烏山あんしんすこやかセンター ... 19



1 はじめに



令和6年度は、介護報酬改定の年であり、求められるものがより高く、多くなっていく一方、物価高騰、人材不足、感染症対策など、経営、運営に悩まされる一年となりました。そのような厳しい時代の中でも、職員たちは、エッセンシャルワーカーとして、ご利用者の安心、安全、尊厳、命を守る介護、支援を行なってまいりました。

特養では、新規ご利用者が、身体的な重度化及び認知症も重度化傾向にあり、職員は事故防止に奔走しています。6年度は、ご利用者の安心、安全を守るために、ベッドにセンサーを設置する介護機器を全床に導入しました。時代に合わせた機器を導入し、生産性向上を目指しています。但し、介護場面では、業務として効率化を図る一方、人の尊厳を守る生活というのは、ときに非効率であることも必要です。業務の効率化を図り、そこで生み出された時間をご利用者の自分らしい生活支援にあてていけるよう、目的を忘れずに取り組んでおります。

短期入所では、感染症の流行により、ご利用を控えていただかなければならないことも複数回ありました。改めて、大感染症時代の運営の難しさを感じる一年でした。そのような中でも、ご家族の休養のためのレスパイトではなく、ご利用者が自ら利用したいサービスを目指し、運営してきました。ご利用者の笑顔をたくさん見ることができました。

通所介護では、職員不足により、祝日を休業にする措置をとりました。職員は少なくても、創意工夫したサービス内容により、ご利用日でない日にも、振替、臨時で利用したい、というご利用者が増えました。特に、認知症対応型では、高い稼働率を維持することができ、認知症の方に満足いただけるサービス提供ができているのだと感じます。

訪問介護では、全国的な人材不足がいわれる中で、少数精鋭のチームで稼働しています。日々のご利用者の生活を支えるため、奔走しておりますが、一方で、本来の就業時間に事務仕事をするのが難しく、職員の時間外労働が多くなっています。人材の確保と、訪問介護の仕事の魅力を、内外ともに発信していく必要があります。

居宅介護支援事業所も、都内23区を中心に、ケアマネ不足が深刻です。そのような中でも、給田介護保険サービスは、困難なケースであっても支援から目を背けない、管理者の姿勢が、職員たちに浸透しています。日々問題と向き合いながら、職員たちの成長を実感できる一年でした。

地域包括支援センターは、令和7年度からの事業を受託するためのプロポーザルを乗り越えました。烏山地区は、フィールドも広く、高齢者も多く、課題也多岐にわたる非常に難しい地区です。プロポーザルの準備をする時間すら確保できない多忙のなか、管理者をはじめ、職員たちは本当に頑張りました。年度末には、事務所の移転もあり、令和7年度は新たな気持ちで出発します。

現場だけではなく、総務課の職員たちも、報酬改定含め様々な事案に対応しなければならない中、現場を守るために奔走しました。すべての職員の努力によって、この一年間、施設、ご利用者が守られてきたことをご報告致します。

令和7年5月

千歳敬心苑 施設長 山口 晃 弘

2 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員：80 名 併設型短期入所生活介護 定員：12 名)

(1) 特別養護老人ホーム

① 重点目標の実施状況

- 1 当たり前が当たり前にできる生活を支援します
コロナ禍といわれて以降、外出支援などの機会が減っていましたが、今年度は徐々にコロナ前の生活を取り戻していきました。外出、外食、ご家族面会の柔軟化などが実施できました。
- 2 グループの特色を活かした運営をします
良い面、そうでない面ともに、グループの特色、リーダーシップなどが表面化した一年でした。グループ会議、日常的なコミュニケーションなどもグループごとに差があり、次年度に向けて課題が明確になりました。
- 3 ご利用者、職員ともに烏山・給田地区の一員として活躍します
コロナ前に実施していた地域公益事業の再開を目指しましたが、十分実施することはできませんでした。実践報告会に関しては、年度末の家族会において発表する予定でしたが、コロナが発生してしまった影響と、準備不足は否めず、課題が残りました。

② その他目標の達成状況

年間稼働率は、目標 97.5%に対し、95.47%と達成には至りませんでした。最大の原因は、ご逝去される方が多かったことです。感染症などの影響ではなく、看取り期の方が重なった結果ですが、厳しい数字となりました。

③ 年度総括

感染症の発生に対応し、疑いがあれば対応し、対策の中で介護をする。疲弊しかねない環境の中で、職員たちはいつも明るく快活に良く頑張りました。夏祭りや秋フェスなどの全体イベントには、ご家族をお招きし、ご利用者と一緒に楽しむ機会になりました。新規ご利用者は、認知症が重度化傾向にある中、職員は対応に追われます。事故防止だけでなく、その方にとっての安心できる居場所をつくるため、福祉職ならではのコミュニケーション力を発揮し、数週間後には、ご利用者が穏やかに過ごされる姿が見られました。

時代に合わせた介護機器を導入し、生産性向上、業務効率化を図る一方、偏らずにコミュニケーションこそ介護の基本であることを念頭に置き、実践してきました。

(2) 併設型短期入所生活介護（稼働率目標：100%）

① 重点目標の実施状況

- 1 稼働率を安定させるために新規集客を図ります。安心して滞在して頂けるよう努め、再利用に繋がります。
毎月2名以上の新規集客を図り、以降定期的なサービスの利用に繋がっております。個々の滞在日数も長期的な滞在を希望されるケースも多く、稼働に繋がる事であれば、利用直前に施設入所等でサービスの終了連絡を受ける事もあり、調整が間に合わず稼働に影響する月もありました。新規・再利用の問い合わせでは希望する日程以外にも送迎を重視する方が多く、日程を変更して送迎を優先した提案でも利用に繋がり、定期的な利用のリズムを崩さずに滞在して頂く事も出来ました。
- 2 満足度向上に努め、安全で快適な環境で過ごして頂けるよう心掛けていきます。
在宅での生活環境をケアワーカーにも細かく伝えながら、滞在中もADLの維持に努めていく事を共有し、食事や水分摂取状況の把握、定期的な入浴、下肢筋力維持の為に歩く機会をつくり、自身で出来る事は取り組めるよう支援してきました。機能訓練指導員の介入でリハビリ体操に参加したり、大画面テレビを囲んで歌謡ショーを観ながら歌われ、グループ内で季節ごとに開催されるイベントの参加にも大いに楽しまれ、ご家族には退所の手紙で報告する事で、滞在中の様子を知る機会となり喜ばれておりました。
- 3 ご利用者・ご家族・居宅介護支援事業所との良好な関係を築き、安定したサービス提供のために信頼関係を築きます。
滞在中の細かい出来事や体調の変化等は、ご家族や担当ケアマネジャーに報告し、ADLの変化に伴う事故のリスクが発生した際には、ケアマネジャーを通して他の在宅サービスでの取り組みを知る事で丁寧に対応し、安定した在宅生活の維持に繋がるよう取り組んできました。

② その他目標の達成状況

定期的にサービスを利用される方の多くは認知症の診断を受けており、ご本人が考えている生活のイメージに耳を傾け、新規利用当初は落ち着きなく表情も硬かった方も徐々に周囲の方々とコミュニケーションをとり、「ここに来ると安心」と聞く事が出来た事には大きな達成感を感じ、ご家族にも安心して送り出して頂ける体制が整ってきたと感じました。

③ 年度総括

在宅生活の維持とサービス利用の必要性をケアワーカーに理解して頂く事は浸透してきた事を実感する場面が増え、個々のニーズや家族の要望を踏まえてサービスの提供を維持する事は出来ており、在宅生活を知る機会を今後も継続していきます。目標稼働達成については、特養の空床利用が含まれた令和6年11月から令和7年1月だけとなり、3月にはグループ内でのコロナウイルス蔓延の影響で、半数近くの方が利用キャンセルとなり、大きく稼働に影響しました。

3 デイ・ホーム千歳

(指定通所介護 定員：42 名 認知症対応型通所介護 定員：12 名)

① 重点目標の実施状況

月平均稼働率 69.4% (平均利用者数 37.5 人) → 65.1% (35.2 人)

・ 指定通所介護 73.8% (平均利用者数 31 人) → 67.8% (28.5 人)

・ 認知症対応型 54.1% (平均利用者数 6.5 人) → 55.8% (6.7 人)

新規契約者数目標 50 人 → 35 人

昨年度末に職員数が減り 4 月から新規利用者を受けられない状況が続き稼働率が上がりませんでした。ただ、認知症対応型は目標値を達成しています。指定通所介護からの移行もできるため利用者の変化に対応できるデイサービスとなっています。

② その他目標の達成状況

曜日による利用者数の偏りがあったため、対象曜日（登録が少ない曜日）に様々なイベントを企画して振替利用を促しました。令和 5 年度は振替利用回数 78 回でしたが令和 6 年度は 186 回と倍以上、振替利用していただきました。新たなイベントとしてはスイーツデコレーション、買い物レク、衣類販売会、ちとせ感謝デー等を行いました。直近ではスイーツデコレーション (R6.2) の参加者が 43 人と大盛況でした。振替利用の認知度もあがっています。

ご利用者、ご家族、ケアマネジャーへのアンケートを毎年実施し、その意見を取り入れ改善しています。SNS (Instagram、ブログ等) で発信していましたが、ケアマネジャーが利用していない事もあり課題も出てきています。

皆勤賞も定着してきていて上半期 23 名、下半期 23 名の方にオリジナルシャツを授与する事ができました。オリジナルシャツが欲しいと利用意欲にも繋がりました。

③ 年度総括

職員人数の減少により新規利用者の受け入れを停止していた時期が令和 6 年 4 月～5 月と続いてしまい、その後の稼働に影響が出てしまった一年でした。6 月以降魅力ある活動を企画し、振替利用をしやすい仕組みを作りました。工夫を凝らし何とか少しずつ稼働が戻ってきている状況となりました。毎月の活動でも賀寿者の方を誕生日月には一人ずつ丁寧にお祝いしたり、利用者同士だけではなく職員とも話す機会となる「お茶会」という企画でコミュニケーションに努め、ご利用者との距離を縮める事ができました。

人材育成としては、班ミーティングを毎月実施したり、毎日業務の振り返りを行い次の日の業務に生かしてきました。

4 給田ヘルパーステーション

(訪問介護事業所)

① 重点目標の実施状況

4月からの法改正により全サービスの単価が引き下げられましたが、6月から特定事業所加算Ⅱを取得したことで、1か月あたりの平均収入は4,240,802円となり、目標達成率は106%となりました。

② その他目標の達成状況

年間の新規契約者数は30人となり、目標の35人にはわずかに届きませんでした。また、解約者数も30人と契約者数と同数となったため、利用者数の増加にはつながりませんでした。

③ 年度総括

6月から特定事業所加算Ⅱを取得したことで、介護保険収入は安定し、さらに保険外サービスの売り上げも前年より160,500円増の675,000円となり売り上げを伸ばすことができました。

しかし、特定事業所加算Ⅱの取得により、業務量が大幅に増加しました。具体的には、全職員や登録ヘルパーへの個別研修、日々のサービスの指示出し、ケア会議などが必須となり、残業時間を増やさなければ対応しきれない状況となりました。

その対策として、10月より電子記録が可能な「ケアパレット」を導入し業務改善を図りました。しかし、情報登録の作業や操作への習熟、登録ヘルパーへの指導に時間を要し、年度内に十分な改善を達成するには至りませんでした。

来年度は、ケアパレットのさらなる活用による業務効率化を進めながら、安定した収入の維持を両立できるよう努めていきます。

5 給田介護保険サービス

(居宅介護支援事業所)

① 重点目標の実施状況

介護支援専門員一人当たり、稼働 35 件については年間を通して 33 件程度で終わりました。短期間で終了するケースも多くありましたが、新規の受け入れについてもスムーズに行えるよう対応してきました。

事業所内のミーティングでは、各利用者の情報共有や、事例検討を通して事業所全体の課題として捉え、出来る限りご本人、ご家族の心に寄り添った支援を遂行してきました。ご利用者だけでなく、ご家族のニーズも多様化しています。本来、ご利用者の支援をする立場ではありますが、ご家族の抱える諸問題についても対応が必要なケースが多く、担当ひとりが抱え込むことがないよう、全職員で対応方法を検討する習慣ができています。

② その他目標の達成状況

フォーマル、インフォーマルな情報、支援方針など事業所内で共有することで経験のある介護支援専門員も経験の浅い介護支援専門員もあらたな知識や気づきがあり、支援のスキルアップや事業所内の連携に繋がりました。

③ 年度総括

医療ニーズの高いケース、早急なケアマネジメントが必要なケース、多種多様な問題を抱えるケースについても、複合施設の強みを活かして対応してきました。顔の見える関係性に重きを置きながら、医療、行政、サービス事業者、地域包括支援センター等とも協力し、できる限りご意向に添った対応を心掛けてきました。

ご利用者、ご家族のニーズも多様化する中で、職員一人一人の対応力も向上してきた実感はあります。成長した職員同士のミーティング、日々のコミュニケーションにより、職員が孤立しない、孤独にならないチーム力が向上してきました。

今後も支援力のスキルアップや地域の方々へ還元できる事業所を目指します。

6 烏山あんしんすこやかセンター

(地域包括支援センター)

① 重点目標の実施状況

総合相談の対応力向上においては、電話でも窓口相談でも慌てずに必要情報が聞き取れるよう相談受付票を改訂したことで、事業所内での情報共有や対応方法の検討にも役立つ事ができました。また、実態把握訪問を複数人で実施したことで多面的、客観的、効率的に情報整理を行うことができた事や経験の浅い職員に関しては情報収集方法、内容、整理、手順等実例を通して学ぶ事ができました。事業所内ミーティングの継続により、ケース検討を通じて気づきを得るピアスーパービジョンの場として定着しました。

地域のネットワーク作りにおいては、外部通報者への対応マニュアルや良くある質問・事例、困った時のQ&Aを作成し、地区内の多方面からの情報提供にフィードバックができるよう努めました。また、介護保険外のサービスの提案に力を入れ、地域の方々に周知するとともに、地域資源の掘り起こしの検討を随時行いました。受託事業の理解を深めることにおいては、各事業のマニュアルの読み込みや変更点、実施の際の注意事項についてミーティングや会議などにおいて読み合わせを行い、全職員一体となって取り組めるよう心掛けました。

② その他目標の達成状況

多種多様なニーズを抱える高齢者の実態を把握し、迅速かつ丁寧に対応し、必要な支援に繋げていく事を心掛け、実態把握訪問件数は1600件を超えました。

各事業についても、認知症ケア推進のため、地域づくりを目的とした活動への後方支援や地区連携医事業では担当医、クリニックと連携により地域の多職種との関係性を構築し、高齢者などの支援に役立つ医療的助言の機会を設けました。

③ 年度総括

年々増える高齢者人口に伴い、介護保険等のサービス利用を希望される傾向も増えており、今後は介護予防も含めた視点も持ち、見守り施策だけでなく各事業の目的、進め方等をまとめマニュアル化の準備を進めていく必要があると考えています。また、積極的な研修への参加も行ってきましたが、今後は学びを定着させるため、事業所内での伝達研修を実施していきます。



第3部 池袋敬心苑



(東京都豊島区南池袋)

1 はじめに …… 21

2 特別養護老人ホーム池袋敬心苑 …… 22

3 デイホーム南池袋 …… 24

4 ふくろうの杜介護保険サービス …… 25

5 ふくろうの杜高齢者総合相談センター …… 26

6 障害者支援施設 雑司谷 …… 27

7 池袋敬心苑 機能訓練室 …… 29

8 池袋敬心苑 医務室 …… 30

1 はじめに

令和 6 年度は、これまで積み重ねてきた様々な取り組みが各所で結実したことを実感できた一年となりました。

「ご利用者満足度の向上」と「職員満足度の向上」の二軸を目的に据え、挑戦心を忘れず様々な取り組みを推進してきたことにより、ご利用者とご家族、職員や地域住民、行政や第三者評価機関等からも高い評価を受けることができました。

職員一人ひとりがしっかりと目線をご利用者に向け続け、これまで創生してきた新たなサービスについてもその質が高まり、開設 20 周年を迎える池袋敬心苑の令和 7 年度に継続性と発展性をもたらす期待が膨らむ令和 6 年度となったと感じております。

「一歩先の介護へ」をスローガンに、ご利用者に提供するサービスの本質について意識が深化し、ご利用者にとっての真なる喜びの提供が特養の待機者増加、ショートステイリピート率の向上に繋がりました。

コロナ禍が明け、復旧に時間を要していたデイサービスに於いても、様々な取り組んできたことがようやく結実し、目覚ましい回復を成し遂げました。

人員を加配した居宅介護支援事業所も計画通りに増収に至り、逆に人員不足であった地域包括支援センターでは職員一人ひとりの奮起により、そのような状況下でありながらも「区内随一」と評価されるに至りました。

障害者支援施設に於いても「前進」を感じられるご利用者支援に関する取り組みがスタートし、職員の活性も高まったように感じております。また、令和 6 年度より受託となった「としま入浴通所サービス」については、令和 7 年度も受託継続となり豊島区より高く評価いただいております。

私は施設長として運営面全般に於いてその頑張りを評価し、誇りに感じております。

加えて感染症対策や物価高騰等、運営的にも経営的にも困難な状況が慢性化する中、それらに翻弄されることなく、ひとつの経営基盤のカタチを確立できたことにより、経営的にも安定感が醸成されつつあると感じております。

一方、施設設備の経年劣化に伴う大規模な修繕、固定資産の更新や豊島区内特養待機者数の減少など、今後も大きな運営課題、経営課題が待ち受けておりますが、怯むことなくこれまで職員一丸となって培ってきたものを携え、様々な予定されている「開設 20 周年記念事業」で弾みをつけ、これらの課題を乗り越え、さらなる飛躍に挑んでまいります。

令和 7 年 5 月
池袋敬心苑 施設長 齋 藤 隆 弘

2 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員：82 名 併設型短期入所生活介護 定員：10 名)

(1) 特別養護老人ホーム

① 重点目標の実施状況

令和 6 年度は「ご利用者と職員が共に笑顔で過ごせる環境」をテーマに各委員会が様々な楽しみの創出に取り組みました。「食を楽しむ会」では外食に留まらず、職員とともに食材購入、調理を行い食べたいものを食べるという『当たり前』を実現することができました。カフェ外出では職員が事前リサーチしたお店にご利用者を案内するのではなく、一緒に散策した中で「ご利用者が入りたいカフェを選ぶ」といった『選択することができる』取り組みを行いました。キャストやゲストと触れ合うことで社会参加を感じて頂けたディズニーランド外出や、初の日帰り旅行となる「熱海外出」など職員とともにたくさんの笑顔が生まれました。GreeeenBluemen による野菜栽培や収穫、実食は土に触れ匂いを味わうことで自然との繋がりを実感していただくことができました。特別な一日ではなく「いつもの毎日」がほんの少し楽しみに変わり、ご利用者の「また明日が楽しみ」と思える瞬間をご提供することができました。

② その他目標の達成状況

上半期にコロナの影響、下半期は誤嚥性肺炎と想定より入院者が増加しており次年度の課題となりましたが、入院者の増加に対し退所後の空床が予測より抑えられていたことで稼働目標は概ね達成することができました。昨年から引き続き「こころのありか」や「としまアーク」など他施設との施設間交流を行うことで参加職員の視野が広がり「池袋敬心苑の良さ」を強化する意識を持つことができました。また、養護課だけでなく他セクションへの協力連携体制についての意識も高まり、「困った時はお互い様」の気持ちで互いに協力することが当たり前と思える土壌を整えることができました。

③ 年度総括

職員の「好き」や「得意」をサービスに活かすことで新たな視点や意義を学ぶことができ、私達が日常の中で当たり前に行っているようにご利用者にも生活や選択を楽しんで頂くことが当たり前であることを実感できた 1 年となりました。「生きている今を精一杯楽しんでいただく」様々な取り組みがご利用者の生きる力や職員のモチベーションに繋がり良い結果となっていると評価しています。新たな体制で令和 7 年度を迎え、より一層ご利用者、ご家族、職員が「池袋敬心苑っていいよね。」と思わず言ってしまうような取り組みを継続してまいります。

(2) 併設型短期入所生活介護

① 重点目標の実施状況

「S 勤務」を両フロアに配置したことで、よりショートステイに特化したサービスを安定的に提供できるようになりました。入所時のウェルカムドリンクと軽食の提供も「くつろぎ」だけでなく「選ぶ」楽しみも感じていただくことができました。ご利用中の様子が見えるアルバムのプレゼントも継続しており、ご家族や担当ケアマネジャーから感謝とお褒めの言葉をいただいています。体操などの活動を通じて自然に日常動作を促進しながら楽しさを感じていただける時間を創出した「そくさいびより」など、ご利用者やご家族にご期待していただけるサービスを提供することで継続的な利用に繋がり、ご家族の負担軽減、ご利用者の外出機会となることで在宅生活継続の一助を担うことができました。

また、S 勤務がショートステイ業務を担当することで継続的な視点でのサービス提供に繋がり、生活相談員との情報共有が密となり在宅での様子やご家族のニーズが直接現場に繋がる仕組みを確立しています。

医療的ケアの必要なご利用希望に対し、多職種でカンファレンスを行い、受入れに向けて取り組む「多職種協働」を実践することで柔軟な受入れ体制の構築に繋がりました。

② その他目標の達成状況

月毎に稼働の変動はありますが、新規ご利用者の継続利用率が 68%と従前より向上しています。ショート担当委員会を中心にサービス面はもとより、物品整備などを図ることでより利用しやすい環境が構築されました。急なご利用相談や他施設でのご利用が難しいと言われてしまった方の受け入れなど多職種協働で柔軟に対応することで継続利用率の向上に繋がりました。

③ 年度総括

ショート担当委員会を中心にご利用者がショートステイを楽しんでいただける取り組みに尽力しており、利用後のご家族やケアマネジャーからの感謝の言葉などから池袋敬心苑が地域のセーフティネットとしての役割を担えるように進化していると評価しています。

令和 7 年度も引き続き弛まず新たなサービスの創出に取り組み更なる深化を目指してまいります。

3 デイホーム南池袋

(指定通所介護 定員：35 名 認知症対応型通所介護 定員：12 名)

① 重点目標の実施状況

今年度立てた事業計画の目標として、機能訓練を通してご自宅での生活を継続できるように小集団リハビリとパワーリハビリを行い、ご利用者からとても人気があり安定したサービスを提供することができました。令和7年1月で機能訓練指導員が退職となりましたが、新たな機能訓練指導員を迎えることができ、令和7年度に向けて体制を整えていきます。

ご利用者・職員の「やりたい！」ことへの実現として、浴槽の導入は入浴サービスのご利用者満足につながりニーズに応えることができました。

デイホーム南池袋を地域の方々に知ってもらえる取り組みとして、見学は1件も断ることなく受け入れたことで令和7年3月31日現在登録者数110名を超えています。入浴の定員を20名から25名までとし、職員一丸となり安心・安全に努めることができました。また、ボランティアの受入れも積極的に行い「マジック、二胡の演奏、書道のお手伝い、ビンゴレク」などデイホーム南池袋を支えてくれるボランティアが徐々に増えてきています。

② その他目標の達成状況

「豊かな暮らしを支える委員会」を発足し、嚥下機能への取り組みを行い食事前には動画を流して口腔体操を継続して実施することができました。

新しい活動として、書道教室を毎週火曜日の午後に行い担当職員を決めて形も整い新規ご利用者へ勧められる人気の曜日となっています。また、たんぽぽコースのプログラムとレクリエーションを見直し、楽しそうに思ってもらえるような名称と種類、目玉レクを職員全体で考え「ふくふく新聞」に載せることでご利用者・ご家族に興味を持ってもらうことができました。

③ 年度総括

今年度は新規ご利用者を断ることなく受け入れることができ、曜日によっては定員が満員の状態までもっていくことができ、そこに至るまで一喜一憂した1年でした。ご利用者が増える一方で職員の退職が相次ぎましたが、その中で受入れに協力の姿勢で汗水流して働き職員一同がんばってくることができました。

週あたりの平均利用回数が、目標の2.1を達成することができ電動自転車を購入してもらい契約、サービス担当者会議などに活用しています。

4 ふくろうの杜介護保険サービス

(居宅介護支援事業所)

① 重点目標の実施状況

令和6年度は、介護保険改正があり、改正内容を事業所内でしっかり共有し、取り組み、準備をした為、特に問題なく対応することができました。

豊島区の研修や、他団体、としケア主催の研修や勉強会等に、事業所全体として、19回参加しており、ケアマネジメント力の向上に努めております。

高齢者総合相談センターとの地域ケア会議、個別ケア会議への出席や、困難事例の受け入れ等を行っています。問題解決に向けての取り組みなどを共有し事業所内にフィードバックし、解決策の検討を事業所内でも行っています。

6月・11月・3月にふくろうの杜圏域の居宅介護支援事業所（4事業所）により、事例検討・勉強会を開催し、地域の課題や法改正の情報等、共有することができました。

災害・感染症・虐待防止に関しても、委員会への参加、業務継続への取り組み、研修・シミュレーション、指針の策定・変更などに対して対応することができております。

さあ！いこうプロジェクトで年間3回（ふくろうの杜カフェ2回、お買い物倶楽部1回）、つながる・つなげるプロジェクトで年間3回イベントを開催し、地域と学校や大学をつなぐことができました。今後も、地域の方々のお困り事やご要望を把握し、地域とのつながりをマッチングしていけるか、検討・実行していきます。

② その他目標の達成状況

豊島区介護支援専門員連絡会は、医師会、薬剤師会、認知症家族会、リハビリ部会等との連携を強化し研修や勉強会等を開催しております。

豊島区の地域ケア推進会議に参加し、ケアマネジャーの法外支援について訴え、検討・提案を行い総会にも参加し発表致しました。

会としての強化を行う為、会費の徴収を行う事を決定いたしました。

③ 年度総括

売上は、目標を上回る売上を計上することができました。

令和7年度も、新規獲得による売り上げの安定と、地域の社会資源としての役割、地域との連携協働に力を入れてまいります。

介護保険改正に対し、しっかりと準備して、対策を行った為、滞りなく業務を行う事ができました。

5 ふくろうの杜高齢者総合相談センター

(地域包括支援センター)

① 重点目標の実施状況

区民ひろば3か所で2か月に1回出張相談を実施しました。今年度は高齢者クラブや町会、ふくろうフェスなどのイベントでも出張相談を行い、包括の広報を積極的に行いました。

昨年同様、区、第2層生活コーディネーター、CSW、介護予防センター等と毎月広報検討会を実施。情報交換や具体的なケースを検討するなどして地域の介護予防やニーズ把握を行っています。

ふくろうの杜圏域多職種連携の会は、「臨床倫理」をテーマに特養の看取りの事例を4分割法を活用して検討しました。4師会と福祉関係機関の計46名の参加があり、今年も会の後に懇親会を行い、お互いの顔の見える関係づくりに繋がりました。

各種研修（区内、外部、苑内）に積極的に参加しています。区の会議、部会、プロジェクト、認知症施策等への参加の要望が増えており、ミーティングでそれらの情報提供を行っております。

② その他目標の達成状況

ふくろうの杜圏域のつながるサロンには計25回包括職員が巡回してサロンとの連携に努め、ニーズのある利用者につないでいます。

認知症支援講座では、「高齢者の排泄について」をテーマに大塚病院の皮膚排泄ケア認定看護師を講師に開催。排泄について地域住民の関心が高く、参加者からは好評でした。

③ 年度総括

区の実地指導は前年度の指摘事項の改善を行い、区から高い評価をいただくことができました。この成果は、日頃から職員がそれぞれの業務に真摯に取り組んだ結果です。

体制については、前年に引き続き職員の休職がありましたが、職員全員でフォローし合いながら、なんとか日々の業務を遂行することができました。なお、3月末には3名の職員が退職することになりましたが、来年度は新たな体制で引き続き取り組んでいきたいと考えています。



6 障害者支援施設 雑司谷



(施設入所支援施設・生活介護 定員 10 名 併設障害福祉サービス事業 定員：1 名)
(地域活動支援センター 定員：10 名)

(1) 施設入所支援施設・生活介護・併設障害福祉サービス事業

① 重点目標の実施状況

外出活動については、ご利用者の体力や行動特性に合わせてペアリングや行き先を設定して取り組むことができました。障害者向け地域行事への参加という点では東京都主催のプラススポーツイベントへの参加が実現しています。
機能訓練室の監修を受け居室環境の整備を行ったほか、スライドボードの使用方法を定期的に確認しております。

② その他目標の達成状況

地域他事業所との連携という点では本年より 3 障害合同となった「豊島区内障害福祉事業所見学ツアー」に企画から携わり、職員複数名が参加し他事業所職員との交流を行うことができました。

③ 年度総括

運営体制の安定が課題となる中、事業所の維持で精いっぱい場面もありましたが、一年間を乗り切ることができました。
特にグループ外出に関しては、コロナ前から数年間の間実施できていませんでした。職員のみならずご利用者自身も参画することができる会議体『雑司谷町内会』を活用して、ご利用者自らが日中活動の在り方に意見や希望が出せることを生かしながら、主体的に外出企画に参加頂けるのではないかと期待しております。
今後もこのような外出活動をご利用者サービスという観点にとどまらず、職員のやりがい創出やご家族との信頼関係構築にも生かしていければと考えます。
また、地域とのつながりを取り戻していくという点において、3 障害合同の見学ツアーを企画する中で、かつてともに会議体運営をしていた他ジャンルの事業所とも数年ぶりに再びつながり合う機会を得ることができ、作業所の方々より「以前のようになまたパン販売に来たい」という相談をいただく機会がありました。
来年度以降につながる種のようなものを蒔くことができた、このことを無駄にせず、令和 7 年度には大輪の花に育てていきたいと思ひます。

(2) 地域活動支援センター

① 重点目標の実施状況

入所ご利用者とともに外出行事を企画したり、区の作品展への出展を行うなどの収穫がありました。医療的ケア者の通所先としての周知活動はそれほど多くは行えませんでしたでしたが、区内で医療的ケアを行う他事業所との交流を行うこともできました。

② 年度総括

居場所機能と希望が叶うこととのバランスを模索した一年でしたが、引き出した希望を受け止め実現する部分に反省があったかと思います。
よく話を聞き、その中で希望をくみ取る形が整ってきているので、実現にこだわって対応していくことが必要となっています。

(3) としま入浴通所サービス

① 重点目標の実施状況

複数の職員育成が実現、本事業の対応ができる職員を増やすことができました。また、各種マニュアルの整備、プランナーとの連携、サービス向上のための物品の整備、ご利用者の状態に合わせた次のステップへの移行支援など、はじめの一念ではありましたが、事業の基本的な部分を確立することができたのではないかと考えています。

② 年度総括

障害福祉の担当職員たちが高齢分野の対応に当たるということに、当初は多少の戸惑いもあったというのが正直なところです。しかしながら、言語コミュニケーションがとれる喜びや、軽介助で済む方々だからこその留意点など、新鮮な視点で携わることができたこともまた事実です。
また、池袋拠点で唯一の障害福祉セクションとして、従来感じてきた「施設内連携の少なさ」のようなものが劇的に変化、他のセクションとの連携の中で業務遂行する場面が増えました。これは開設以来約20年間を振り返っても画期的なことではないかと考えます。
地域課題の解決のみならず、新たな内部連携のチャンネルとしても機能したという点で、上々の一年目だったのではないのでしょうか。

① 重点目標の実施状況

セクション内の職員連携の強化という点に関しては、定期的開催される機能訓練室運営会議において苑内における情報に関しての情報共有の場として機能し、また、事例検討を通して困難事例に対しての対処法について、それぞれの有している資格に由来する知識と培った経験を活かし検討を行う場としての機能も発揮し、前年度以上に運営会議としての機能を果たしたと考えています。

介護技術と福祉用具のリテラシーの向上に関しては、療護課において機能訓練室の監修のもと協働でスライディングボードの使用に関してのマニュアル動画を作成しています。それに伴い、療護課においてはスライディングボードの使用が標準化され、介護負担の軽減にもつながっています。同様のマニュアルは養護課にも導入することが出来き、セクション内だけでなく苑全体の標準化を目指しています。

② その他目標の達成状況

月例運営会議において新入介護職員へのボディメカニクス研修の受講を必須化し、入職後早期の腰痛による離脱や退職に繋がらない様に対策を行っています。研修は講義と実技を交えて、事例も入れながら理解しやすい内容となっています。

また、令和6年度の癒しのここねでの職員施術者数が年間で延べ人数266人となり、現在のところは施術人数が毎年記録更新しており、ここ数年では腰痛による退職者は出ていません。今後も可能な限り職員の皆様の健康に少しでも貢献出来たらと考えています。

③ 年度総括

機能訓練室体制が発足して3年が経ち、形がないところからミッションやビジョンを掲げて運営してきました。特にデイサービスの本格的な機能訓練の導入というデイサービス事業所の新たな方針に機能訓練室も協働で取り組み、3年かけてご利用者やご家族に満足して頂ける機能訓練の提供が出来る体制を令和6年度で完成形にすることが出来ました。

ただ令和6年度の終盤でデイサービス担当の機能訓練指導員の退職に伴い、訓練提供が行えない期間が出来てしまいました。何とか3月には新規の機能訓練指導員の採用に至り、現在は前任者と同等の機能訓練の提供が可能となっています。機能訓練室立上げ時の構想の一つにどのセクションの機能訓練指導員が抜けても、育成指導が出来る機能を構築し、ご利用者に訓練を提供できる形を崩さないように運営していくというビジョンがあります。現在はまさにそのビジョンが体現できるかということが問われています。令和7年度は機能訓練室として新たな機能訓練指導員を迎えるという初の試みを成功に導き、デイサービスの新たな機能訓練の形、機能訓練室の新たな形を作り、組織として今後も起こりうる変化に対応できるよう機能訓練室職員が常に皆が同じ方向を向いて継続的にセクションの運営が出来たらと考えています。

① 重点目標の実施状況

看護師連携について

「特別養護老人ホーム 池袋敬心苑」「デイホーム南池袋」「障害者支援施設 雑司谷」の3部門が一つにまとまり生活を支える医療支援に取り組んできました。いつでも適切な対応が出来るよう健康管理のための医療サービスについて細かい情報共有を医務室で行い、緊急時は看護師のポテンシャルを引き出しチームのパフォーマンス向上に繋がっています。新しい地域公益事業の「としま入浴通所サービス」は協力体制が整ったことでご利用者に快適な環境を提供することが出来、それぞれ特殊性のある認知症ケアや障害特性への理解が深まっています。

② その他目標の達成状況

看取りケアの実施について

ご利用者とご家族の意思や権利を尊重したインフォームドコンセントは、医療的なサポートだけではなく精神的サポートが重要となることが多くあります。そのためCWからインフォームドコンセントの実施を発信出来るフローチャートが用意され医療的な内容に繋がる情報共有に活かされています。死に至るまでの不安や苦痛を緩和する方法の確認と施設医療の限界を説明しご理解いただくことで、ご利用者の状態に合わせてご家族が望まれるケアを提供し、令和6年度は14の方が池袋敬心苑で最期を迎える場所として選んでいただきました。病院でないところで最期を迎えるということはリスクも伴うことを念頭に置き、普段からご家族と信頼関係を築き、委託医との情報交換を密に行って取り組んでいきます。

③ 年度総括

令和6年度の入院者数は、特養39名・療護2名という結果でした。その内訳は「肺炎、誤嚥性肺炎」「骨折」「心不全」が多くを占め、療護2名は「誤嚥性肺炎」「ウイルス性小腸炎」でした。COVID-19の入院者数は特養4名・雑司谷0名、インフルエンザは0名という結果は、感染対策に強い関心と積極的に行動する職員の意識の高さを評価できるものと考えます。様々なリスクを抱える高齢者にとって防ぎきれない疾患による入院は少なくありませんが、医療と介護の連携によってこれからもご利用者の健康維持に繋がっていききたいと思います。

また、看護職員の働きやすい職場環境に磨きをかけるために、医療ケアに専念できる業務改善など確認しつつ施設での看護について取り組んでいきたいと思います。

第4部 浦安市障がい者福祉センター

(千葉県浦安市)

1 はじめに … 32

2 就労継続支援B型事業 … 33

3 生活介護事業 … 34

4 地域相談支援事業 … 35

1 はじめに

令和 6 年度はセンターの活動を平常時にもどしつつも、無意識の中で潜んでいる不安を打破しながら進めていった一年間でした。大きな支えとなってくださったご家族や関係する皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。

生活介護事業では、グループごとに季節を感じられる活動も取り入れながら日々の生活の中の変化も大切に支援しました。また、生産活動においても就労継続支援事業と協同しながら内容の充実を図りました。安心して過ごせる環境の中で、それぞれの力を発揮し様々な表情を見せてくれました。

就労継続支援事業では、営業活動を継続し新たな作業を増やしたことで、様々な作業の中から選択できる機会に繋がり、より主体的に取り組んでもらえるようになったと感じています。また、午後の休憩時間を 10 分伸ばしたことで、十分な気分転換の場になると同時に、余暇活動でのご利用者同士の関わりがより深められているように見受けられます。

相談支援事業では、介護や医療サービス、居住サービスに繋ぐ際に不安なく移行できるように時間をかけて丁寧に支援しました。研修にも積極的に参加し、相談員一人ひとりの支援力の向上にも努めました。また、基本相談では、何でも相談しやすい雰囲気を心がけ、それぞれに必要な支援に繋げることができました。

全体イベントとしては 7 月「ボッチャ大会」、10 月「日帰り旅行」、11 月「福祉避難所開設訓練」、12 月「きらりあ祭」を開催しました。5 年ぶりの開催となった「きらりあ祭」では飲食や手芸品出店、楽団演奏や太鼓、歌などがあり、地域の方々も含めて約 500 人を超える皆様に楽しんでいただくことができました。

令和 6 年度も安心して過ごせる環境を整えながら、ご利用者の笑顔を引き出せるように支援者それぞれに努めることができたと思います。引き続き、充実した時間となるように進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 5 月
浦安市障がい者福祉センター センター長 大島 佐登子

① 重点目標の実施状況

1 ご利用者が働きがいもち、より主体的に働ける職場づくり

一人ひとりが無理なく安心して取り組める環境づくりに努めた結果、多くのご利用者が落ち着いて作業に取り組んでいます。新たな作業も増え、さまざまな作業に携わってもらうこともできています。さらに、複数の作業から選択できるようにし、より主体的に取り組めるようにしました。ご利用者からは「〇〇の仕事をやりたい」と希望が聞かれるなど、意欲的な様子も見られました。また、売上の変化が見える化することで、自身の仕事が成果に結びついている実感が得られ、働く意欲の向上にも繋がっています。

2 工賃の維持・向上

作業部門ごとに年間の売上目標を設定し、その達成に向けて営業活動や作業の効率化に取り組みました。また、単価の見直しによる価格改定を実施し、売上の増加につながりました。その結果、昨年度を上回る売上を達成することができました。毎月の平均工賃額は一定水準を維持していますが、平均利用者数の増加に伴い、賞与を含めた年間の平均工賃額は減少傾向にあります。

3 作業グループ間の連携強化と職員の知識とスキルの向上

他グループの作業回しや利用者支援の方法を学び、業務理解が深まるとともに、職員間の協力体制も強化されました。さらに、ご利用者の自立度向上を目指す取り組みによって、煩雑化した職員業務の効率化を進めました。また、参考書を購入して活用することで、知識を深め、職員間で共通認識を持ちながら支援にあたることができました。

② その他目標の達成状況

秋には日帰りレクリエーションとして品川アクアパークへの外出を実施し、イベント企画サークルではスイカ割りや忘年度会を行いました。また、ボッチャは継続して取り組み、月1回の選手権では入賞を目指す姿が見られます。これらの余暇活動を通じて、ご利用者の笑顔や交流が自然と生まれ、心身のリフレッシュが図られるとともに、主体的な参加意欲の向上にもつながりました。

③ 年度総括

新卒の方を含む5名の新規ご利用者を受け入れたことにより、平均利用者数は前年度の34.9名から38.1名へと増加しました。これに伴い、作業量の確保と売上向上が課題となりましたが、継続的な営業活動に加え、ご利用者の特性やスキルに応じた作業の割り当てを工夫し、効率的な体制を整えました。その結果、増員にも柔軟に対応し、売上面でも着実な成果を上げることができました。

① 重点目標の実施状況

1 安心できる地域生活

コミュニケーション方法や掃除、買い物、余暇の過ごし方など、将来に向けた生活スキルを獲得できるよう、個別や集団にて定期的に練習する機会を設けました。

地域イベントの開催や市内イベントでの出店、小学生の見学会、継続した納品などの外出活動により、地域の方への理解を深めました。

2 運動プログラムの充実

機能訓練やストレッチは個々のニーズに合わせた内容を取り入れ、ボッチャや球技、ダンスなどは集団で楽しめるような活動環境を整えました。

ウォーキングや公園散策などで屋外でも運動する機会を設けました。月数回、市内公民館の体育館では、バスケットボールやマット運動など、各班のメンバーを交えながらいろいろな種目で体を動かす時間を提供しました。

3 支援員のスキル向上

ケースコンサルテーション、強度行動障害支援者養成研修、eラーニングなどの研修や、ワーキンググループ、事例検討会、身体拘束適正化検討会での話し合い、さらには宿泊体験などの日中活動以外の場において、支援員それぞれが経験を積み、支援スキルを高めることができました。

② その他目標の達成状況

今年も季節に合わせたいろいろなイベントを企画しました。夏には「納涼祭」、秋に「日帰り旅行」、冬は「カレンダーづくり」を実施しました。特に日帰り旅行では、バスで横浜・八景島シーパラダイスに行き、イルカのショーやアトラクション、水族館、レストランでの昼食など、各班それぞれのペースや楽しみ方でたくさんの笑顔が見られました。

③ 年度総括

支援員間で意見を出し合いながら活動環境や生活場面を設定することで、ご利用者皆さんがメリハリをもちながら、安心して過ごすことができたと思われまます。真剣に活動に取り組む姿や落ち着いて他者と関わる様子も日頃より多く見受けられ、さまざまな力を引き出せたと感じます。また、研修や検討会に支援員それぞれが参加することができ、より質の高い支援を提供するために学びを深めた1年でもありました。今後ともご利用者一人ひとりがご本人らしく過ごせる環境づくりを大切に、支援の質の向上を目指していききたいと思います。

4 地域相談支援事業

① 重点目標の実施状況

- 1 権利擁護を意識し幅広い視点を持ちながら、ご本人主体の生活を一緒に考える
ご本人の権利が守られているかという視点を持ちながら、ご本人やご家族の意向、関係機関の意見を確認し、課題の整理と必要な支援を考えました。また、課題を抱えながらも支援ニーズを発信できないご本人やご家族に対して、地域の関係機関と連携し、継続した関わりを持ち支援しました。
- 2 計画相談を円滑に提供するためのスキル向上の取り組み
アセスメントを適宜見直し、サービス等利用計画作成に活かしました。発信が難しいご本人の意思を丁寧に汲み取り、支援者にも周知しました。外部の研修会や勉強会に参加し、事業所内で共有しました。
- 3 一般相談の実情とニーズの把握
一般相談支援を提供している事業所に加えグループホーム支援ワーカーにも、実際のサービス提供状況の聞き取りを行いました。また地域に合わせた一般相談の在り方を検討するために浦安市独自で開催された『にも包括推進会議』にも参加し、意見を伝えました。

② その他目標の達成状況

内容	件数		
計画作成	126	相談支援実務者会議	3回
モニタリング	470	関係機関との連携会議	8回
担当者会議	226	自立支援協議会	8回
相談対応	8,315	事例検討会議	8回
		にも包括推進会議	2回
		委託相談連絡調整会議	7回

③ 年度総括

計画相談としては、障がい特性に特化した研修を積極的に受講し知識を共有することで、相談室全体のスキルアップにつながりました。

委託相談としては『うらやすスクラム支援会議』への参加し、挙げたケースへのアウトリーチに取り組みました。また委託相談の機能が浸透してきており、依頼を受ける数が増えました。



第5部 敬心ゆめ保育園



(千葉県船橋市)

1

はじめに

...

37

2

保育事業

...

38

3

特別保育事業

...

39

1 はじめに

令和6年度は在園児135名でスタートし、途中1歳児0歳児に入れ替わりはありましたが、令和7年3月末には、卒園児26名を無事4校の小学校へと引き継ぎ、135名で令和6年度を終えました。

令和6年度は行事や活動も、感染症の不安や対応に惑わされることなく、コロナ禍以前の保育園の日常が、完全に戻った1年でした。

職員のマスク着用が任意となり、特に言葉の確立が十分ではない乳児の保育にとっては、顔や口元が分かりやすくなり、子ども達により表情が認識される場面が増えました。

幼児保育では、4、5歳児クラスの配置基準が30対1から25対1に変わり更にきめ細かい保育が求められるようになりました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」や幼児期の終わりまでに育てたい「話し言葉」を念頭に置き、保護者と共有し将来の子どもの姿を見据えながら保育しました。さまざまな経験や人間関係は、日々の遊びを通して身につけるように働きかけ、園の環境で実体験の難しいものについては、絵本や図鑑、キンダーブックを通して意図的に知る機会学ぶ機会を提供してきました。

就学を見据えた年長児には、市内共通に架け橋プログラム作成の素案作りが開始されました。令和7年度には、より原案へと近づけるように取り組んでまいります。

船橋市でも令和6年度より、障害者差別解消法の施行により、さまざまな取り組みが急遽行われました。それに伴い、門扉の改修の補助金や船橋市初の試みである姿勢保持椅子の貸し出しを受けるなど、利用できることは最大限活用し良い環境作りを始めました。

また、公立保育園見学や発達支援施設との定期的な連携も図ることができました。今後よりよいものになるよう更に連携を深めます。

令和6年度に一時預かり事業の実施を検討する計画を掲げていました。しかし市内全域で実施園が不足している現状を踏まえ、船橋市が先に依頼をしてくる形で実施の計画が進みました。その為思った以上に早い時期（令和6年7月～）の開始となりました。

利用者の様々なニーズに合わせ対応するように努め、利用者からの評判も良く需要の多さを実感しました。まだまだ課題はありますが、今後も職員全体で協力しながら改善に取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、地域の皆様、関係機関、保護者の皆様の、温かいご支援ご協力のもと令和6年度を無事に終了することができましたことに感謝申し上げます。

令和7年5月
敬心ゆめ保育園 園長 佐藤 宏美

2 保育事業

① 重点目標の実施状況

令和6年度から船橋市でも障害児、発達支援を必要とする子どもの、保育園受け入れ施設拡充方針が定まり、行政からは補助金交付、姿勢保持椅子の貸し出し等の対応が取られました。課題となっていた設備や環境の充実を図るために、以下の点に着手し、受け入れ態勢を整えることができました。

- (1) 車椅子で出入り可能な門扉への交換
- (2) 身体障害児の為の姿勢保持椅子のレンタル
- (3) 階段昇降の為の補助器具購入
- (4) 支援児の受入れや対応方法など、公立保育園の実践見学に参加

乳児保育・幼児保育においては、一人ひとりが尊重されながら安定した生活が送れるように支援しました。また、幼児期の子どもたちに必要な学びについて、保護者会を通して園での取り組みを伝え、園と家庭が連携して育ちを支えることを周知しました。

最終年度（年長児）の子ども達にはより一層数多くの経験を積めるように取り組みました。（這う運動遊び・リズム運動・鏡餅作り・工具を使った制作他）

② その他目標の達成状況

保育の専門性に目を向ける研修や取り組みを続けてきました。

年間を通じて物的環境、様々な遊具や素材、自然環境について学び、園庭に於いても虫を呼び込んだり、自然に触れたりする事ができるよう草花の種を蒔きました。保護者の要望を基に課題の改善に取り組んだり、求められる保育を取り入れたりしながら、保護者とともに子育てに取り組みました。

不適切保育にならないための意識づけ、振り返りの機会を増やし、質の向上に努めました。

保育の可視化、ICT化の運用を充実させるため、端末を増やして活用の幅を広げました。

② 年度総括

職員は子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を、細やかに助ける生活援助の知識や技術を身に付け対応してきました。令和6年度は職員の妊娠やそれらに纏わる体調不安は多かったものの、離脱者が最小限で済んだ事は幸いでした。もともと保育士の離職率が低い事、連続性のある学びなどが要因となって保育の方法も安定的に受け継がれ実践に活かされてきていると考えます。今後も保育の質を維持していけるように取り組みます。

3 特別保育事業

① 重点目標の実施状況

延長保育事業における利用者の減少は、働き方改革が定着したことによるものと捉えています。前年度と同様の動きになっておりますが、引き続き保育の充実を図り、利用が必要な保護者が安心して利用できるよう対策を講じてきました。病児保育事業（体調不良児対応型保育）においては、興味を引く玩具や絵本の導入で、安心して過ごせる環境作りに取り組みました。

② その他目標の達成状況

地域活動推進事業の活性化としては、園庭開放の復活で地域子育て世帯へ遊び場の提供ができました。また、ソニー音楽財団による「絵本をモチーフにした生演奏」やもちつき会などに地域の方の参加を募って実施しました。令和6年7月1日より一時預かり事業を開始しました。年度の途中であったことから、市内利用対象者に事業開始が浸透するまで時間を要しスロースタートとなりましたが、開始から数か月で利用者が増え、予約が取れない状況が際立ち需要の多さを実感しました。

③ 年度総括

特別保育事業の延長保育事業では、コロナ禍から保護者の在宅勤務が多くなり、コロナ禍解除になった今年度も、延長保育を利用しない傾向に収まっています。利用が激減していますが、利用園児には楽しい空間を提供するように努めました。病児保育事業（体調不良児対応型保育）では、さまざまな感染症の復活で、預かり頻度は増加傾向にありました。令和8年度実施を目指していた一時預かり事業は、市内保育園で需要と供給が間に合っていないということで行政側から依頼が入り、年度途中の開始となりました。環境が後手に回っている状況ではありましたが、都度改善に努めております。お陰様で市内での評判も上々で、運営としても収入源になり得る事業と見込んでいます。一時預かりの利用者は、他の市内全域の一時預かりを併用できることから、評判が外部に拡散されやすいという特徴もあるため、評価を落とさないように、より一層環境を整えていく必要があると考えます。



第6部 江東区障害者福祉センター



(東京都江東区扇橋)

1 はじめに

...

41

2 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業

...

42

3 地域生活支援関連事業

...

43

1 はじめに

令和 6 年度は、運営引き継ぎ 2 年目として仮施設への移転という大きな転機を迎え、利用者やご家族への負担を最小限に抑えることを最大の目標として取り組みました。

移転に先立ち、令和 6 年 2 月および 3 月に合同説明会を開催し、その後、多機能型事業所では各訓練室ごとの保護者会を、地域生活支援事業では登録団体や定期利用者への個別説明を実施するなどして、幅広く理解と協力を得るようにしました。

また、区の担当課と緊密に連携しながら計画的に移転準備を進め、事前にご案内していた休館期間内に作業を完了させました。結果として、大きなトラブルもなく運営を再開することができ、保護者や職員からは「想定よりも影響が少なかった」との声が多数寄せられています。

一方で、交通アクセスの不便さについては依然として課題が残っています。仮施設と東陽町駅を結ぶ臨時バスの設置などを行っていますが、区と調整して無料で利用できるようになった扇橋本施設近隣のパルシティ江東を利用する団体もあり、地域生活支援事業の利用者数は移転後に減少しています。

現場では、PC による記録管理やグループウェアを活用した情報共有体制の整備により、業務効率と支援の質の向上を図りました。さらに、利用者からの声やアンケート結果をもとに、現行の人的・物的資源を最大限活用した支援体制の在り方について検討を進めています。

こうした取り組みの結果、利用者アンケートにおいても総合的な満足度は、満足傾向の回答が多機能型事業所で 94%、地域生活支援事業では 70%（不満回答なし）となっており、利用者やご家族、関係支援機関との信頼関係を築きながら、安定した運営を継続できた一年となりました。

令和 8 年 1 月以降に予定されている本施設再開に向け、基盤整備は着実に進展しています。今後も仮施設での支援内容をさらに充実させるとともに、本設復帰後に向け、ハード・ソフト両面で質の高い運営を目指して準備を進めてまいります。

令和 7 年 5 月
江東区障害者福祉センター センター長 肥 田 淳

2 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業

① 重点目標の実施状況

ア 11月からは仮施設での活動となりましたが、継続して下記の事業を実施しています。仮施設となったため、園芸、地域交流祭など規模の縮小を余儀なくされ、引っ越しに伴い受注作業量が減少するなどの影響もありました。

- (1) 創作活動：スポーツレクリエーション、調理実習、買い物実習、音楽、園芸、自主製作品作成（販売、障害者作品展）
- (2) 作業：河川敷公園の清掃、家賃帳・おたより帳のカバー差し、菓子箱の折り組立等軽作業、「るーくる」での就労体験
- (3) 行事：社会参加訓練、季節行事、誕生会、バスハイク
- (4) 地域交流：区民祭り、地域納涼まつり等地域イベントへの出店、かかしコンクール、障害者福祉大会への参加、地域交流ミニ祭
- (5) 健康管理：嘱託医による健診（月1回）、健康診査（年1回）
※今年度よりコロナワクチン接種は中止しています。
- (6) 機能訓練：理学訓練（47回）、言語訓練（24回）
- (7) 保護者との連絡：訓練室ごとの保護者会（年4回）、面談（年2回）、連絡帳の活用、利用者アンケートの実施、保護者対象の仮施設見学会の実施
- (8) 給食サービス：時間差での食堂の利用、給食会議（月1回）

イ 大規模改修に伴う仮施設への移転に際し、各訓練室ごとの保護者会に加え、個別のご家族への説明と調整を実施しました。また、区の担当課と緊密に連携し、事前にご案内していた休館期間内での計画的な移転作業を進め、大きなトラブルもなく無事に運営を再開することができました。

② その他目標の達成状況

区との協議の上、各職員がPCを使用できる環境を整え、グループウェアの利用による情報共有や、記録専用ソフトの導入を通じて作業の効率化を進めました。

また、運営2年目であり、障害福祉施設での勤務が初めての職員も複数いるため、研修を通じて基本的な支援方法の獲得や支援に対する考え方の共有を図る時間を確保し、全体的な支援力の向上に向けて取り組みました。

③ 年度総括

仮施設への移転準備にあたっては、バス送迎時刻の大幅な変更、家族への説明および関係支援者への調整、建物管理委託業者との契約変更、仮施設内での物品整理や活動プログラムの再編成など、多岐にわたる調整を職員が連携しながら進めました。

運営開始 2 年目で移転を伴うという落ち着かない状況下においても、利用者アンケートでは総合満足度 97%という高い水準を維持することができました。特に「楽しく通所できている」という声や、センターの利用によって意欲が向上し、できることが増えたといった前向きな意見が複数寄せられており、本年度は安定した成果を収めた一年であったと評価しています。

3 地域生活支援関連事業

① 重点目標の実施状況

ア 11 月からは仮施設での活動となりましたが、継続して以下の事業を実施しています。移転後は陶芸教室が実施が困難となり、ニーズの高かった健康体操教室の回数を 32 回から 42 回へと増やしました。

(1) 特定相談支援事業及び基本相談支援

特定相談支援 登録者数 43 名、サービス利用支援 25 名、モニタリング 108 人

(2) 地域活動支援センター事業等

① 創作的活動及び社会適応訓練事業

IT 教室 2 回、料理教室 2 回、コーラス教室 10 回、健康体操教室 42 回、
絵手紙教室 10 回、陶芸教室 2 回、障害者地域生活支援セミナー 5 回

② 機能訓練事業

理学療法士による訓練（成人・児童） 96 回、言語聴覚士による訓練（成人） 48 回、
作業療法士による訓練（成人） 24 回、言語聴覚士による訓練（児童） 96 回、
作業療法士による訓練（児童） 48 回、発達相談（児童） 42 回、
社会適応訓練（児童） 22 回

③ 入浴サービス事業

巡回入浴 延 989 名、機械入浴 延 715 名、家族入浴 延 267 名

④ その他の事業

講演会 2 回、日帰りバスハイク 1 回、地域交流祭 1 回、PC 支援 24 回

(3) 録音物発行事業

① 江東声の広報 通常号 37 回、② 声の区議会だより 6 回、

③ 選挙のお知らせ・選挙広報 3 回

(4) 点訳サービス事業

① 公的 point 延 18 件、② 常駐 point 延 30 件

(5) 高次脳機能障害者支援促進事業

① 専門相談 12 回、② 機能訓練 24 回、③ 交流会 12 回、④ 講演会 2 回、

⑤ 連絡会 4 回、⑥ 啓発リーフレット作成

イ 仮施設への移転に際して、登録団体への説明会を実施した後、各団体に対して個別説明を重ねました。また、機能訓練・入浴サービスを利用する個別利用者に対しても、窓口にて移転に関する説明を行いました。仮施設の利便性の低下に対応するため、扇橋本施設近隣の公共施設パルシティ江東を登録団体が無料利用できるよう区と調整を行い、仮施設発着の巡回バスに加え、東陽町駅行きの臨時便（1日2便）を設定するなど、既存資源を活用し、利便性の確保と影響の緩和に努めました。その結果、大きなトラブルなく移転作業を完了し、移転後も多くの利用者が引き続き施設を利用しています。

しかし、事業休止期間（2～3週間）の影響や、パルシティ江東の利用が増えたことで、年間利用者数には減少が見られました。

② その他目標の達成状況

申請手続きの簡略化に対するニーズが高かったことから、通いづらい仮施設への移転を契機として、申請書への押印を廃止し、申請書をメールで送信できる仕組みを整備することで、利便性の向上を図りました。

③ 年度総括

登録団体および定期利用者への個別説明を実施したことにより、幅広い理解と協力を得ることができました。また、区の担当課と緊密に連携し、事前の案内に基づいて計画的な移転準備を進めた結果、大きなトラブルもなく、運営の再開を実現しました。一方で、交通アクセスの不便さは依然として課題であり、利用者数は減少傾向にあります。

利用者アンケート（回収率 81.5%）では、総合評価として「満足」「やや満足」の合計が 69.8%、「どちらともいえない」が 20.8%、不満の回答はゼロという良好な結果が得られました。特に、職員の対応については、「満足」「やや満足」が 83.0%と高い評価を受けており、今後も移転等による環境の変化がある中においても、丁寧な支援と、利用者一人ひとりへのきめ細やかな対応を継続してまいります。



社会福祉法人 敬心福祉会 事業所一覧



法人本部

【〒157-0064 東京都世田谷区給田 5-9-5】

- 法人本部事務局

TEL : 03-3307-1165 FAX : 03-3307-1140

千歳敬心苑

【〒157-0064 東京都世田谷区給田 5-9-5】

- 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑
- デイ・ホーム千歳
- 給田介護保険サービス
- 給田ヘルパーステーション

TEL : 03-3307-1165 FAX : 03-3307-1140

TEL : 03-3307-2282 FAX : 03-3307-1140

TEL : 03-3307-2598 FAX : 03-3307-1140

TEL : 03-3307-2424 FAX : 03-3307-1140

【〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-4-26 烏山第2倉林ビル4階】

- 烏山あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）

TEL : 03-3307-1198 FAX : 03-3300-6885

池袋敬心苑

【〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-7-8】

（オリナスふくろうの杜）

- 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑
- デイホーム南池袋
- 障害者支援施設 雑司谷
- 雑司谷デイサポートセンター
- ふくろうの杜介護保険サービス
- ふくろうの杜高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

TEL : 03-5958-1165 FAX : 03-5958-1210

TEL : 03-5958-1206 FAX : 03-5958-1209

TEL : 03-5958-1176 FAX : 03-5958-1210

TEL : 03-5958-1176 FAX : 03-5958-1210

TEL : 03-5958-1207 FAX : 03-5958-1195

TEL : 03-5958-1208 FAX : 03-5958-1195

浦安市障がい者福祉センター

【〒279-0042 千葉県浦安市東野 1-8-2】

- きらりあ（就労継続支援B型事業・生活介護事業）

TEL : 047-350-8770 FAX : 047-350-8766

- きらりあ相談室（指定特定相談支援事業）

TEL : 047-350-8765 FAX : 047-350-8775

敬心ゆめ保育園

【〒273-0002 千葉県船橋市東船橋 3-15-8】

- 敬心ゆめ保育園

TEL : 047-411-5725 FAX : 047-424-7373

江東区障害者福祉センター

【〒135-0011 東京都江東区潮見 2-8-7】

- 江東区障害者福祉センター

TEL : 03-3699-0316 FAX : 03-3647-4918